

国土交通省一品確法に関わる6物質

厚生労働省指針13物質

文部科学省基準6物質

非配合

F★★★★

環境配慮型

環境配慮型エポキシ樹脂系 中塗り材

フロンベースエポ

環境に配慮した下地調整が

低コストで実現できます!

用途

1. 塗り床材用の厚付け中塗り材 (0.2mm~2mm)
2. 臭気、シックハウスが懸念される工場・倉庫等の床の下地調整材
3. 環境に配慮したTXフリータイプ

● 容量・配合比

品名	容量			配合比(重量比)	
	A液	B液	セット	A液	B液
フロンベースエポ	18kg	2kg	20kg	9	1

● 性状・一般物性

試験項目	結果	試験条件
外観 A液 B液	灰色粘稠液(N-60相当) 褐色粘稠液	
混合粘度	4500mPa・s	23℃ B型粘度計
硬さ	80	JIS K 6253 ショア-D
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	JIS K 5601-4-1

*試験結果は、弊社における試験に基づくもので、保証値ではありません。

● 厚生労働省指針13物質一覧

分類	成分名	フロンベースエポ	
VOC類	トルエン	非配合	※、※※
	キシレン	非配合	※、※※
	エチルベンゼン	非配合	※、※※
	スチレン	非配合	※、※※
	テトラデカン	非配合	
	パラジクロロベンゼン	非配合	※
	フタル酸ジニルマルブチル	非配合	
	フタル酸ジエチルヘキシル	非配合	
SVOC類	クロルピリホス	非配合	
	ダイアジノン	非配合	
	フェノブカルブ	非配合	
アルデヒド類	ホルムアルデヒド	非配合	※、※※
	アセトアルデヒド	非配合	※※

※は文部科学省基準6物質 ※※は品確法に関わる6物質

● 乾燥性

温度	10℃	23℃	30℃	
可使時間	夏型	—	30分	25分
	冬型	40分	20分	—
上塗可能時間	16時間	12時間	8時間	

*冬型:使用範囲5℃~15℃

● 上塗り適性

上塗り塗料	適性	上塗り塗料	適性
フロン50TXフリー	○	パワフルフロアーⅡ	○
フロンフルトップ	○	フロンクイックF	○
フロンアクアエポ	○	水性フロアー	○
		フロンアクアファースト	○

● 下塗り適性

下塗り材	付着性
フロンエコプラ速乾	○
フロンフィラーローラー用	○

*塗り替え時は、旧塗膜をポリッシャー等で必ず研磨して下さい。

HIGASHI NIPPON PAINT PRODUCTS

 **東日本塗料**

■ クラックの処理方法例

● 1mmから3mm程度のクラック

1 クラック(亀裂)
施工箇所を清掃し補修範囲を確認。

2 Uカット
施工部分をUカット及び清掃。

3 下塗り材塗布
プライマーを塗布。

4 充填・仕上げ
フロンベースエポ:フロン珪砂7号 = 100:20~50の割合でクラックの大きさに合わせて塗布し平滑にする。

● 欠損部の補修

1 凹部の脆弱部分を除去
施工箇所を清掃し補修範囲を確認。

2 下塗り材塗布
プライマーを塗布。

3 充填・仕上げ
フロンベースエポ:フロン珪砂6号 = 100:200の割合で欠損部の大きさに合わせて塗布し平滑にする。

■ 標準工法 ● フロン50TXフリー1.5mm厚コーティング工法(総合塗膜厚1.5mm) フロンベースエポ1セットあたりの塗装面積50㎡

工法名	工程	材料名	使用量 kg/㎡	上塗可能時間 (23℃)	備考
	1	素地調整	-	-	-
	2	フロンエコブラ速乾	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて充分攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	フロンベースエポ フロン珪砂7号	0.4 0.1	12~48時間	A液:B液=9:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて充分攪拌したフロンベースエポを4に対し、フロン珪砂7号を1(重量比)の割合で混合し、コテにて塗布。
	4	フロン50TXフリー	1.5	24時間 (軽歩行開放時間)	A液:B液=5:1(重量比)の割合で計量、混合し、電動攪拌機にて充分攪拌後、コテにて塗布。

■ 施工上の注意事項 ■

- 下地は、砂、ゴミ、ホコリ等を完全に取除いて下さい。また、新設コンクリート、モルタルの表面には、レタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ず、ワイヤー付きポリッシャー等でレタンス層を完全に除去して下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良を招く場合があります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- 旧塗膜がある場合は、旧塗膜の密着不良部分を除去して下さい。また、必ず下地調整を行い、異物を除去して下さい。油泥、油污れがある場合は、フロンオイルクリーナーで洗浄し、完全に取除いて下さい。
- A液とB液の混合と同時に反応が進み、次第に粘度が上昇し、ゲル化しますので、使用可能時間(ポットライフ)内に使い切るようにして下さい。使用可能時間(ポットライフ)は30分(23℃/夏型)です。施工時の温度・施工面積、作業人数等を考慮して、無駄のないように材料の配合をして下さい。
- ご使用になる環境は十分に考慮して適正な材料と施工法を決定して下さい。
- 溶剤希釈は基本的に行わないで下さい。冬期に作業性改善の為に希釈する場合は、TXフリー用希釈材を使用し、2%(重量比)を限度とします。
- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下	15℃~25℃	30℃以上
硬化後退 (カブリ、しわ、軟化等発生)	最適	硬化促進 (ポットライフ短縮)

- 常時、水を使用される部位については、あらかじめ下地モルタル等に水勾配をつけて下さい。
- 施工時は引火、爆発、中毒等の事故防止のため十分に換気をし、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ、手袋等保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
- 直接皮膚に触れないよう十分に注意して下さい。もし触れた場合はウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- 材料の保管、取り扱い、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき十分な管理をお願い致します。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行なって下さい。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。

引火性あり	警告	有害性あり	感作性あり
	<ol style="list-style-type: none"> 引火性の液体である。 有機溶剤中毒の恐れがある。 健康に有害な物質を含有している。 皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。 変異原性の恐れがある。 		
<p>業務用</p> <p>(注意事項) 1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので、取扱いについては、<u>容器に表示された注意事項を守って下さい。</u></p> <p>2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)</p> <p>※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。</p>			

● お問い合わせは・・・

東日本塗料株式会社

本社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南藤崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063
 北海道出張所 TEL.090(8586)2214 FAX.03(3697)2306



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

URL <http://www.hnt-net.co.jp>

CATALOG NO.3 '15.02.5000